



遊佐町吹浦地区、鳥海山大物忌神社（吹浦口之宮）の参道東側の山際にある道端、石垣の下から清冽な水が湧き出ている。湧き出した水がたまって大きな沼になっていたことが名前の由来となっている。歴史のある神社の門前にあり、多くの参拝者が行き交い、往時の賑わいを偲ばせる。



〔管理者〕 宿町二集落〔保全団体〕 遊佐町

歴史や利活用

鳥海山大物忌神社は、6世紀には歴史に登場している。現在は、鳥海山山頂の御本殿、蕨岡口之宮と合わせて一つの神社となっている。歴代天皇をはじめとして、土地の有力者の庇護を受けてきた。



アクセス

（北緯 39.072611°、東経 139.880000°）

遊佐町内、国道 345 号線を北上し、JR吹浦駅の東口（正面）を目指す。吹浦地内で歩道橋の手前を右折し、踏切を越え、突き当りを右に、次の丁字路を左折し、スーパーマーケットを通過し、最初の交差点を左折する。吹浦保育園、吹浦児童公園を通り過ぎると、道沿い右側に湧水が見えてくる。



近くの見どころ

- <やまがた百名山> ◆ 鳥海山、笙ガ岳
- <日本一の滝王国山形> ◆ 胴腹滝、一ノ滝、二ノ滝（遊佐町吉出）
- <やまがた景観物語> ◆ 湧水の芸術 幻想的な水辺の空間「丸池様」

清らかで水量豊かな湧水が県内各地に点在し、大地や人、草木に潤いを与えています。県では地域の人々に育まれてきた優れた湧水を「里の名水・やまがた百選」として選定し、地域の活性化や観光誘客につなげていきます。

また、本県は「自然が豊富で水がいい」強みを活かし、質の高い県産品をお届けすることができます。